

窓、ドアの高断熱化

本基準は『住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準および一次エネルギー消費量に関する基準』に定める開口部の熱貫流率の基準値を参照しています（豊岡市は**地域の区分5**に該当）。

【参照元】住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準及び一次エネルギー消費量に関する基準（平成28年国土交通省告示第266号）[\(外部リンク\)](#)

1. 窓の場合

要件：次の①および②に該当すること。

- ① 窓の熱貫流率Uが4.7以下となる。
- ② 次のア～ウまでのいずれかに該当する。
 - ア 窓の日射熱取得率が0.59以下となる
 - イ ガラスの日射熱取得率が0.73以下となる
 - ウ 既設の付属部材（和障子、外付けブラインド）や有効な庇、軒がある
※付属部材、ひさし、軒の工事は補助対象に含まれません。

2. ドアの場合

要件：ドアの熱貫流率Uが4.7以下となること。

《参考》

【窓（サッシ・ガラス）の組み合わせと熱還流率】

窓の熱貫流率 [W/m ² ・K]	JIS等級	窓の断熱性能表示マーク	サッシ・ガラスの組み合わせ（色が濃い部分が該当）						
			樹脂製サッシ		アルミ樹脂複合性サッシ			アルミ製サッシ	
			Low-E 三層複層 ガラス	Low-E 複層 ガラス	Low-E 三層複層 ガラス	Low-E 複層 ガラス	複層 ガラス	Low-E 複層 ガラス	複層 ガラス
1.1	H-8	★★★★★★							
1.5	H-7	★★★★★☆							
1.9	H-6	★★★★☆							
2.3	H-5	★★★☆☆							
2.9	H-4	★★☆☆☆							
3.5	H-3	★☆☆☆☆							
4.1	H-2	★☆☆☆☆							
▲ 4.7	H-1	☆☆☆☆☆							
4.7超	-	(☆☆☆☆☆)							

（経済産業省 資源エネルギー庁リーフレット「省エネ性能向上のための窓の性能表示制度」参照）

複層ガラス…2枚のガラスの間に空間を確保し、気体を封入または真空にすることで、1枚ガラスよりも断熱性能を向上させたもの。

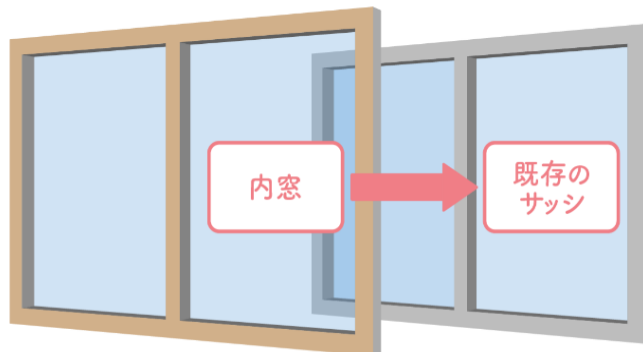
Low-E複層ガラス…複層ガラスの仕組みに加え、特殊金属膜をコーティングしたガラスを使用することで、断熱・遮熱性を向上させたもの。

【対象となる窓の工事例】

・内窓設置

既存窓の内側に新しい窓を新設する、または既存の内窓を取り除き、新しい内窓に交換する工事。

(イメージ図)

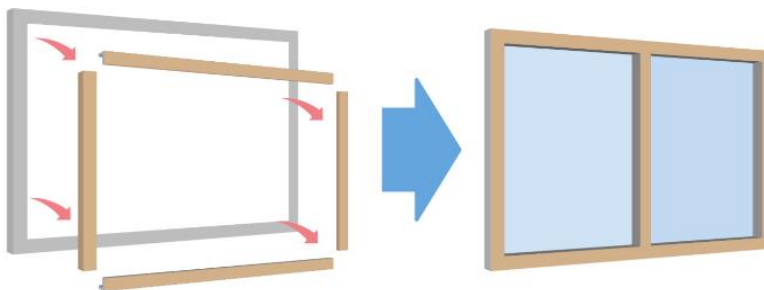


・外窓交換

古いサッシの枠に重ねて新たなサッシを取り付け、複層ガラス等に交換する工事（カバー工法）、または古いサッシを枠ごと取り外し、新たな窓枠を取り付け、複層ガラス等に交換する工事（はつり工法）。

※下図ははつり工法

(イメージ図)



・ガラス交換

既存窓のガラスのみを取り外し、既存枠をそのまま利用して、複層ガラス等に交換する工事。

(イメージ図)

